

週刊大貫のり夫

市政ファイル No.462

日本共産党横浜市議員大貫のり夫議会報告

発行日：2014年11月26日(水)

事務所：〒227-0061 横浜市青葉区桜台29-6



家庭弁当基本ではなく、中学校給食の実施を

「横浜らしい中学校昼食のあり方(案)」について市教育長に申し入れ

横浜市教育委員会は、10日に開催された市議会常任委員会で「横浜らしい中学校昼食のあり方(案)」を示しました。このあり方では、「『家庭弁当』を基本とし、『家庭弁当』と『配達弁当』のどちらも選択できる環境を整え」としています。

日本共産党横浜市議団は20日、中学校で給食を実施しようとせず、家庭弁当を基本とするあり方は問題だとして、岡田教育長に対して緊急の申し入れを行いました。

申し入れでは、全国で中学校給食の実施が進んでいるのは「心と体が最も成長する中学生の時期だからこそ、すべての生徒に栄養バランスのとれた食事を提供することを主な理由としている」と主張。学校給食法に基づく学校給食導入にむけて本格的な検討を盛り込むこと、配達弁当を給食実施までの経過措置として位置付けて、市教委で献立をつくること、弁当代に市費を入れること、および弁当代を就学援助の対象相当とすることを求めました。

(2面に続く)



申し入れ書を齋藤教育次長(左)に手渡す日本共産党横浜市議団。左から2人めが私・大貫=11月20日、横浜市教育委員会。

市政ファイル12月3日号と10日号は総選挙のため休刊します

事前と委員会での説明が異なる

(1面より)

常任委員に事前に行われた説明資料では、「配達弁当は(中略)購入しやすい価格で提供できるように本市で経費の一部を負担する」

「養育に支援が必要な世帯等に対しては、配達弁当の無料提供を検討する」など学校給食法の給食に近似した内容が盛り込まれていましたが、当日資料ではこれらの記述が削除されていました。一方、「一人ひとりの状況に合わせて作ることができる家庭弁当の良さを尊重」の一文が当日資料に加えられていました。

申し入れで私・大貫は、中学校昼食のあり方とともに、事前の説明と常任委員会での説明が異なり、異なったことについての説明がなぜなかったのかと問いただし、行政と議員の信頼関係にかかわる重要問題だと指摘しました。また、古谷やすひこ議員は、事前の説明に基づいて質問の準備をしており、今後もこのような

11月10日の常任委員会での発言より
山下正人議員(自民)「横浜の伝統である家庭弁当を充実するっていうのはわれわれとしては非常にちゃんとしたいなと思っています」

今野典人議員(民主)「歴史ある家庭弁当というのも教育上も家庭のつながりも非常に大事。それを両立させるかたちで進めていくということは非常にいい選択」

白井まさ子議員(共産)「学校給食法とか食育推進法などを踏まえて、今回、あり方がだされているんでしょうか」

ことがあるならば、事前説明を信用できなくなると述べました。

齋藤宗明教育次長は、一連の検討の中で変更になったもので、まるきり考え方を変えたわけではなく、予算を伴うものであるため、今の段階での提案は控えることになったと説明しました。

カジノシンポを開催



日本共産党横浜市議団は22日、「カジノ解禁と横浜誘致について考えるシンポジウム」をかながわ労働プラザで開催。参加者からは、「カジノの経済的社会的マイナスがよくわかった」「カジノの害悪と深刻さを市民に知らせていく必要がある」などの感想が寄せられました。

シリーズ『あおば子育て事情』(165)

俵万智さん

江口 寛

自転車のかごからわんとはみだして
何やら楽しいレタスの葉っぱ
俵万智さんの短歌が中学校の教科書に登場したのは20年ほど前だった。新しい時代がやってきた感じがした。

今使われている中学2年の国語教科書（光村図書）には、

思い出の一つのようでそのままにしておく 麦わら帽子のへここみ

(俵万智)

ジャージの汗滲むボール横抱きに
吾駆けぬけよ吾の男よ

(佐々木幸綱)

土鳩はどどつぽどどつぽ茨咲く野は
ねむたてどどつぽどどつぽ

(河野裕子)

観覧車回れよ回
れ思い出は

君には一日我
には一生

(栗本京子)

と、新しい感覚
と用語の短歌が、

子規、晶子、牧水、啄木といった伝統的な短歌と肩を並べている。

さて、その俵万智さんが、最近、財務省の「いじめや不登校が目立った改善が見られないから、小学1年生の35人学級を40人に戻す」方針に異を唱えた。

「“目立った改善”が認められないなら30人に見ませんか？」と、ツイッターで発信しているそうだ。

よくぞ言ってくれました。さすが、元高校教師。そして小5の子をもつ万智ママ。

**歌声喫茶ともしびin 長津田**

場所：緑区文化センター・みどりアートパーク
(長津田駅北口)

日時：12月8日(月) 午後2時～4時

チケット料金2000円(全席自由) 当日券あり

主催：新宿ともしび・横浜友の会 共催：歌声喫茶ともしび新宿
お問い合わせ03-6907-3801

さあ総選挙！ 政治変えるチャンス

安倍さんの好き勝手は許さない！

安倍首相は、絶対多数の自・公議席を背景に、2年前の総選挙では公約に掲げていない秘密保護法を制定しました。武器輸出の自由化や集団的自衛権の行使を、国民のゴウゴウたる反対の声を無視し、閣議決定しました。

日本を再び海外で戦争する国にするために、着々と進めています。いま日本は歴史的な岐路に立っています。

この総選挙はチャンスです。日本共産党の躍進で自民党の議席を大幅に減らし、安倍首相を退陣させ、憲法9条を守りぬきましょう。安倍首相の好き勝手は許しません。

テレビ番組で野中元官房長官 堂々たたかう野党 共産党以外にない

自民党幹事長も経験した野中広務元内閣官房長官が16日放送の「時事放談」(TBS系)で解散・総選挙に関連して、野党のあり方に言及し、次のように述べました。

「野党が本当に野党として、自民党・公明党の政権にぶち当たってきたら、数は少なくても、政策として、また選挙になれば、国民の支持もあろうと思うのです」「共産党以外に野党として胸を張って



堂々とたたかっていく姿は全くないし、どちらかといえば、一部には与党になりたい、与党になりたいと言って、すり寄ってくるような野党が存在するようでは、日本の議会主義が本当にだめになっていくと心配をするんです」



ミジソコの独り言 ブラインドサッカー世界選手権で日本はみごと6位入賞。初めての決勝トーナメント進出だったが、惜しくもPK戦でパラグアイに敗北。視覚障害者と健常者が一緒にでき、見えていないとは思えないほど激しい動きに、思わず頑張れと声援!! (M)